

謹賀新年



若松区二島西公園内「友愛」

新春を迎えて

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、内外ともに多事多難の年であり、地方自治体にとっても、国の未曾有の財政危機により、公共事業の抑制や国庫補助金の一律削減をされるなど、厳しい試練の年でありました。

そのような状況のなかで、本市では、四月に、健康都市づくりを目指した「さわやか北九州プラン」をスタートさせ、さらに「健康都市宣言」を行うなど、二十一世紀のまちづくりへ向けて大きく第一歩を踏み出しました。しかしながら、国家財政の危機は依然として続いており、本市をとりまく環境も極めて厳しいものがあります。

市議会といたしましては、市民の皆様の深いご理解とご協力によって、この難局を乗り越え、さらに一層の市勢の発展と市民福祉の向上のために全力をつくす決意であります。皆様の今後一層のご支援をお願い申し上げます。あわせてご健康とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさついたします。

元旦

北九州市議会

議長 浜田 順治

副議長 大坪 郁夫

補正予算など33件を可決

決まった主なもの

市長提出

◎六十年各会計補正予算



12月定例会

補正予算の概要

区分	補正前の額	補正額(増額)	補正後の額
一般会計	3,515億6,412万円	7億3,591万円	3,523億 3万円
普通特別会計	2,572億2,396万円	17億2,181万円	2,589億4,577万円
企業会計	1,056億6,488万円	2億7,370万円	1,059億3,858万円
合計	7,144億5,296万円	27億3,142万円	7,171億8,438万円

◎北九州市社会福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
小倉北区宇佐町の東山寮(宿所提供施設)の廃止及び小倉南区城野の城野集会所(地方改善施設)の移転を行うもの

◎北九州市職員の給与に関する条例及び北九州市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
市職員の給与と特殊勤務手当を改定するもの

◎美術館増築工事請負契約締結
契約金額 四億八、八〇〇万円

◎北九州大学体育館兼講堂建築工事請負契約締結
契約金額 四億九、七〇〇万円

◎町及び字の区域及び名称の変更
小倉南区、若松区、八幡西区の一部について住居表示を実施するため、町及び字の区域及び名称を変更するもの

◎市道路線の認定、変更及び廃止
市道路線の整備を図るため、路線の認定、変更及び廃止を行うもの

・認定 二、三〇本
・変更 八本
・廃止 一〇本
※路線数は台帳整備に伴うものを除く

◎北九州市と遠賀郡水巻町との境界の一部変更
北九州市と水巻町との境界をはさんで宅地造成が行われたことに伴い、境界の一部を変更するもの

◎北九州市衛生施設の設置及び管理に関する条例
門司区大字畑の松ヶ江診療所を廃止するもの

◎北九州大学条例の一部改正
北九州大学の研修員及び研究生に係る授業料等を定めるもの

◎国立小倉病院に関する意見書
国立小倉病院の存続と整備拡充を政府に対し要請するもの

人事紹介

十二月定例会において、次の方々が決まりました。

北九州市助役

石橋 忠雄

北九州市教育委員会委員

津田 恵

人権擁護委員候補者

市川ヨリ子

北九州市民憲章

緑を豊かに

清潔で美しいまちにします

きまりを守り

安全なまちにします

人を大切に

ふれあいの輪をひろげます

元気で働き

明るい家庭をつくります

学ぶ楽しさを深め

文化のかおるまちにします



質疑応答

海の祭典

— 北九州港 —

議員 第一回目の海の祭典が、全国に先がけて北九州港で開催されることになりました。

この催しは、西日本を代表する国際貿易港をかかえる本市にとって、大変ふさわしい行事だと思えます。

海の祭典の内容について、どのように考えていますか。

港湾局長 七月二十日の海の記念日が、五年後に五十周年を迎えます。これに向け運輸省は、全国的に海洋海事思想を普及させるため、海の祭典を開催することを企画しています。

本市は、六十一年に門司港が国際貿易港として五十五周年を迎えることや全国に北九州港をアピールする絶好の機会であることなどから、六十一年度の開催に立候補しました。

その結果、本市での祭典の開催が決定しました。

祭典の内容については、最終的には官民一体となって組織される実行委員会が決定されますが、基本的には、北九州地域の経済の活

本会議で十二人の議員が、市長から提出された議案に対する質疑や、市政全般についての質問を行いました。

その中から主なものを取り上げました。

性化につながるもの、北九州港の振興と発展が図れるもの、市民全体が関心をもつて参加できるものを考えています。

全市をあげて祭典に取り組み、民間の英知と活力を積極的に導入していきたいと思っています。

行政改革大綱の内容は

議員 行政改革推進懇談会の提言には、年長者に対する助成や、使用料、手数料の見直しなど、市民サービスの低下、市民負担の増加につながるものなどがあげられています。

この提言に基づいて、行政改革大綱が策定されると聞いていますが、大綱の内容はどのようなものですか。

市長 現在、行政をとりまく環境は大きく変化しており、また、社会も高齢化、情報化、国際化などにより大きく変化しています。

提言は、この変化に即した新しい行政のあり方を考えるべきであるという観点からなされています。大綱の策定に当たっては、市民福祉の向上という大きな目標を達成するために行政改革を行うとい

う基本的な認識に立ち、提言の趣旨を尊重したいと思っています。

また、使用料、手数料などについては、物価の変動に応じて、今日まで適正な公共料金の設定に努めており、行政改革だから市民の負担を増やすということではありません。

悪徳商法の対策は

議員 最近、豊田商法まがいの悪徳商法が、さらに巧妙なかたちで横行しています。

悪質な訪問販売の被害の拡大を防止するには、通産省の訪問販売トラブル情報提供制度の活用等が有効であると思いますが、本市の対策はどのような状況ですか。

経済局長 現在、訪問販売等によって生じるトラブルは、多様化、広域化しています。したがって、被害防止対策についても、全国的規模によって実施しなければその効果は薄いという状況です。

このため、本市としては、通産省とタイアップして情報を交換し、市政日より、市政テレビ、啓発紙等を通じて、被害の防止に努めています。

さらに、老人クラブ、公民館活動等を通じて、地域的、組織的な啓発の充実に努めていく考えです。

国鉄新会社の本社は

議員 国鉄の民営化がなされた場合、九州の新会社の本社位置がどこになるのか、非常に関心のあるところですが。

常識的に考えれば、現在、国鉄九州総局の本局ビルのある門司区に新会社の本社を置くのが適当ではないかと思われませんが、国鉄にどのような働きかけをしているのですか。

市長 九州では、国鉄の分割・民営化により、仮称ですが九州旅客鉄道会社の設立が、六十二年四月を目途に準備されています。

この本社位置については、先般、運輸省、国鉄、国鉄再建監理委員会を回って、門司区に置くよう陳情を行いました。

仮に、本社が他に置かれた場合は、社屋建設が必要であり、また、通信施設の移設、職員宿舎の建設、鉄道病院をどうするかといった問題があります。

多額の投資をするよりも、現在の国鉄九州総局の施設をそのまま使用する方が合理的であると思えます。

コンベンションの誘致を

議員 現在、各都市においては、コンベンション・シティーを目標に掲げて、施設の整備を行い、各種の会議等の誘致に努めています。

このような会議の開催は、各方面、各分野の情報が集まり、市内各界にインパクトを与え、まちづくりの面からも貴重な要素となり、さらに、消費の面からも効果が期待できます。

各種大会、会議等の誘致について、積極的に取り組む考えはありませんか。

市長 本市には、国際会議にふ

さわしい会場がありませんでしたが、九州厚生年金会館の完成により同時通訳ができる会議場を備えることができました。

この結果、五十九年には、東南アジア四か国が参加した都市交通セミナーを本市に誘致しています。

今後、国内外の会議あるいはイベントを積極的に誘致したいと考えています。

また、産業医科大学においては、航空宇宙労働における産業医学というような国際的な会議等を積極的に誘致していますので、今後は、このような活動に協力していきたいと思っています。

※コンベンション
人を中心とした物や知識、情報などの交流のための集会



84都市交通セミナー

別館を建設

— 美術館 —

議員 美術館の隣に別館を増築する議案が、今議会に提出されていますが、今の美術館は、交通も不便であり、また、他施設との位置関係からも問題があります。

この際、別館を本館から切り離し、交通の便が良く、近くに文化施設があるような他の場所に、建設することはできないのですか。

教育長 アネックス（別館）建設は、地元作家の作品展示の機会の増大を図るとともに、美術館本館自体が開館後十一年を経過し、所蔵作品も増加していることから行うものです。

このアネックスは、市民の社会環境の変化、美術文化への多様な



アネックス完成予想図

ニーズ等の変化に因應する観点から展示室、市民ギャラリー及び収蔵庫を備え、本館と一体となった施設として考えています。

したがって、本館の横に建設し、本館と一体的な活用を図っていく必要があります。

東京で開催

— 経済開発セミナー —

議員 企業誘致を図るため、六十二年二月に、東京で北部九州経済開発セミナーが開催されます。

このようなセミナーを通じて、北九州市の良さをPRすることは非常に有意義なことだと思います。このセミナーの内容をお聞かせください。

市長 セミナーは、本市への企業立地を促進するために開催するもので、東京地区所在の売上高五億円以上の製造業を中心に約一万一千社に案内状を送付しています。セミナーでは、北部九州経済の特色について企業の理解を深めるための講演と、本市のもつすぐれた産業立地環境及び工場用地のPRを行います。

具体的には、現在、本市において分譲中の響灘臨海工業用地、新門司二期埋立地について、スライドやパンフレットを使って説明することにしています。

このようなセミナーの開催は、本市としては初めての試みで、商工会議所との共催となっています。また、市内の主要企業にも協賛を要請し、地元経済界と一体となった産業振興への取り組みの基礎にしたいと考えています。

推進地域に指定

— 地域経済 活性化対策 —

議員 このたび、北九州市を含む二市四町で構成する北九州都市圏が地域経済活性化対策推進地域に指定されました。

制度の仕組みや財政上のメリットについて、お聞かせください。財政局長 この制度は、地方公共団体が中心となり広域的、総合的な観点から地域の人材、技術、情報、資源等が効率的に活用できる地域経済活性化計画を策定し、五年の期間でこれを推進するものとなっています。

現在、計画の策定作業が進められていますが、その内容は、工業の高度化・先端化、第三次産業の活性化、交通情報体系の整備、快適な都市環境づくりという四つの柱を基本としています。財政上のメリットとしては、この計画が自治省の承認を受けると、単独の公共施設の整備事業について特別の地方債が優先的に許可され、その元利償還の一部についても、地方交付税で補てんされます。

また、民間企業などが行う一定の設備投資について、日本開発銀行が融資をする際に配慮が加えられる等のメリットがあります。

存廃の検討を

— 門司競輪場 —

議員 行政改革推進懇談会の提言に、門司競輪場の存廃の問題が述べられています。新しい市政の方針は、健康都市

づくりであり、基本的にギャンブル収入に頼らない市の財政確立を目標にしなければなりません。この提言を契機に、門司競輪場を廃止すべきではありませんか。

市長 市財政への寄与が非常に少なくなった競輪場については、将来の動向を見ながら、これを整理することが必要です。公営競技の収入に頼って地方財政を維持することは、好ましいことではありません。

しかし、本市の財政事情から今日まで継続していますが、その収益がなければ何のためにこれを維持するのかわからなくなります。まして、維持をするために、一般会計から繰り出しをすることになると本末転倒になります。

門司競輪場の廃止問題については、六十一年度に学識経験者、市民の代表を含んだ検討委員会を設置し、論議をお願いしたいと思います。

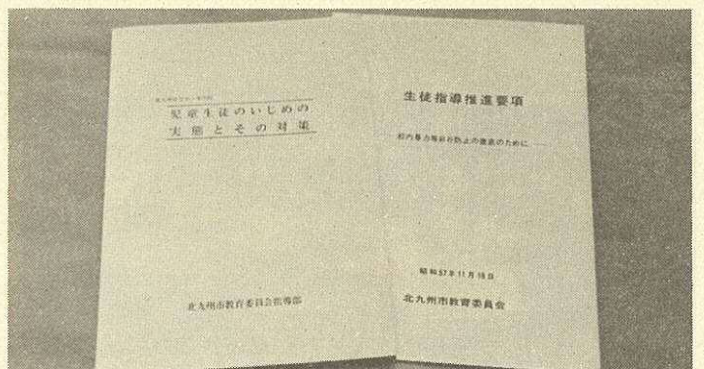
いじめ問題の対策は

議員 いじめの問題については、非常に深刻化し、大きな社会問題となっています。

六十年五月に教育委員会が行った、いじめの実態調査においても、この問題が深刻化するとともに、広範囲に及んでいることがうかがわれます。

今後、どのような対策を講じられるのかおたずねします。

教育長 いじめの防止に当たっては、子供達の心の教育が大切であり、各教科や道徳教育、特別活



動等を通じて、勇気と正義感を養い、よりよい人間形成に努めたいと考えています。

先日、開催したいじめに関する体験発表会の結果等をふまえて、近く、いじめ防止の具体的な手引書を作成、配布するとともに、各学校の相談体制の確立を図るなど、早期発見、早期解決に努力したいと考えています。

また、いじめ問題の解決を図るため、学識経験者や教師等、各層の代表で構成されるいじめ防止対策推進協議会（仮称）を早急に設置したいと考えています。

この協議会において、公聴会というかたちで、広く市民のかたがたや先生の意見を聴くなどの機会を設けていきたいと思っています。